

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09000030

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 担い手(人・組織)の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	酪農ヘルパー制度強化推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町酪農振興会	関係課	#N/A	
事業指標	酪農ヘルパー利用の向上	関係課	#N/A	
事業目標	専任ヘルパー 6名体制	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	<p>農業後継者の育成、確保には、農業者の他産業従事者並みの労働時間の確保も重要であることから、農休日等を設定し快適でゆとりある環境の整備を図るために専任ヘルパーの増員、確保に努める。</p> <p>また、緊急時等におけるヘルパー利用に対応するためにも専任ヘルパーの増員確保は重要であり、人材確保の推進により充実した農業経営が行えるよう努める。</p>	専任ヘルパー1名増による事業運営費の助成 2,000 千円	専任ヘルパー6名体制に係る事業運営費の助成 3,000 千円	専任ヘルパー6名体制に係る事業運営費の助成 3,000 千円	専任ヘルパー6名体制に係る事業運営費の助成 3,000 千円	専任ヘルパー6名体制に係る事業運営費の助成 3,000 千円
	事業費(千円)	14,000	2,000	3,000	3,000	3,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	14,000	2,000	3,000	3,000	3,000
	その他 一般財源	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	14,000	2,000	3,000	3,000	3,000
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	14,000	2,000	3,000	3,000	3,000
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	◎起債(過疎対策)	【評価・実績】	専任ヘルパー4名体制の維持	専任ヘルパー6名体制の確保	専任ヘルパー6名体制の維持	専任ヘルパー6名体制の維持
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	4名体制維持	6名体制確保	6名体制維持	6名体制維持
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	100%	100%	100%
	全体達成率	14%	36%	57%	79%	
	備考欄					

事業名	酪農ヘルパー制度強化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	酪農ヘルパー制度利用農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	専任ヘルパーの維持								
【抱える課題やニーズは】	労働力の不足による農休日の不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ヘルパー制度の充実による労働力の負担軽減と休日の確保	① 専任ヘルパー数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	6名	実績値	6名	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	6名										
実績値	6名										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	酪農家の快適でゆとりある経営環境への改善	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度		目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度											
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	事業実施団体への助成	酪農(専任)ヘルパー6名体制を維持するため、事業主体(雄武町酪農振興会)に対し補助金を交付した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	毎日の搾乳労働が必須であることから、極めて周年拘束性が強い酪農家の経営環境を改善するため必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	平成26年度からの専任ヘルパー6名体制が維持され、労働力の負担軽減と休日の確保が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	ヘルパーを利用する農家は相応の負担をしており、補助金額は必要最小限としている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	ヘルパー事業の充実は、酪農家全体の労働環境改善につながるから、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>A</b>	
	平成26年度からの専任ヘルパー6名体制が維持され、ヘルパーを利用した酪農家において、農休日の取得により労働環境の改善が図られた。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/拡充</b>	
	専任ヘルパーの7名体制の確立による事業強化と、ヘルパー人材の確保、定着を図るための待遇改善を実施するため、更なる支援を行う必要がある。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止